

解剖学の基礎知識

[講義の目的]

メディカルアロマセラピーにおいて対象となる人体の表層構造、神経系、感覚器の構造等の概論を理解し、各所の名称、役割の基礎を理解することによって、より適切なアロマセラピーの実施を可能とすることを目的とする。

[講義の概要]

人体における体表解剖学、脳神経解剖学、感覚器解剖学（特に嗅覚器）について講義を行う。講義形式はパワーポイントを用いた講義を行う。体表解剖学は主として皮膚、表層骨格、表層神経系、表層筋系などを中心として講義を行い、各所の名称と役割について理解を深める。脳神経解剖学は、脳の形態と機能について概論し、アロマセラピーによる心の変化について深く関わる脳の解剖について概論を理解する。感覚器解剖学は、痛覚などの受容器の解剖学および嗅覚器の解剖学についての基礎を概論し、匂い物質の受容機構について理解を深める。

[講義の到達目標]

1. 人体表層における各組織の構造と機能を理解する。
2. 人体の脳と付随する神経系の構造と機能を理解する。
3. 匂い物質の受容器である嗅覚系について構造と機能を理解する。
4. その他の感覚器の構造について概論を理解する。

時限	テーマ	内容と到達目標	担当
1	解剖学概論	解剖学が何故重要であるのかについての概論を学習する。 特にアロマセラピーと解剖学の関わりについての基礎を理解することを目的とする。	塩田 清二
2	体表解剖学概論 1	体表解剖学の医学における意義の概論を学び、体表解剖学の内、特に筋・骨・神経等の運動器系を中心とした概念の理解を目標とする。また、体表から筋や骨の位置を推察し、基本的な各所の名称と機能の学習を通して人体に対する理解を深める。	小澤 一史
3	体表解剖学概論 2		小澤 一史
4	脳神経解剖学概論	脳と付随する神経系の構造と機能について概論を学習する。 特に匂い刺激に伴い出現する脳神経の活動変化や脳内物質の分泌能の変化についても学ぶ。また脳の器質性疾患について神経精神科領域の疾患の責任部位などについて簡単に概説する。	神保 太樹
5	感覚器解剖学概論	嗅覚系および触覚系を中心として、人体に備わるセンサーである感覚器の基本的な構造と機能を学ぶ。またその機能の障害される疾患の例を学び、感覚器解剖学の概論の理解を深める。	神保 太樹